

路線名	都道府県	対象区間	1. 整備手法の考え方	2. その他自由意見
東九州道	福岡県	苅田北九州空港～豊津	○当該区間は、有料道路方式として事業中の区間であり、早期に完成するためにも引き続き西日本高速道路株式会社による整備が必要である。	
		椎田南～宇佐	○当該区間は、費用対便益及び採算性ともに高水準であることから、県としては有料道路方式による早期整備を希望する。	○苅田北九州空港～豊津間も含めて本路線の沿線には自動車産業を中心に企業活動が積極的に展開されている。用地取得や文化財調査等に対して地元自治体や経済界等とともに全面的な支援を行うこととしており、7年間程度で完成することを西日本高速道路株式会社に対して強く要望している。
	大分県	椎田南～宇佐	<ul style="list-style-type: none"> ・早期着手と早期整備が可能と考える。 ・西日本地域での採算性による優先順位が比較的高い。 ・当該区間の前後は、既に有料道路で開通。（「椎田道路」、「宇佐別府道路」活用による一環性） ・将来における自動車産業をはじめ、耶馬溪に代表される観光等のポテンシャルが高い。 ・当該地域は、自動車、半導体、電子機器等の産業集積が進んでおり、また、北九州の100万都市と別府・大分の60万都市を結ぶ最重要路線であり、しかも一巡目の高速道路である。 <p>これらのことから、当該区間は「西日本高速道路株式会社による有料道路方式」で整備することを希望する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州から当該地域は、トヨタ、日産、ダイハツ等の自動車産業が集積しており、年々、増産体制に入っている。（平成17年89万台体制→平成18年度101万台体制） ・高速道路の建設に対する地域の盛り上がり大きい。 *大分経済同友会や日本青年会議所、さらに「道づくりを考える女性の会」、中津市、宇佐市等による度重なる要望活動や、189万人にも及ぶ署名活動等、地域全体が熱い思いを持っている。 7. 2 「椎田～宇佐間」総決起大会 2,000人規模 福岡県、大分県、北九州市、九州山口経済連合会主催 8. 19 東九州自動車道地方大会 1,000人規模 東九州自動車道促進期成会、九州山口経済連合会主催 10. 19 東九州自動車道中央大会 300人規模 東九州自動車道促進期成会、九州山口経済連合会主催 12. 1 東九州自動車道優先着工フォーラム 600人規模 大分経済同友会主催
		津久見～蒲江	<p>「津久見～佐伯」間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年開催予定の大分国体までの完成を確実にする為、時間的ロスを生じないようにスピードを落とさず引き続き整備をお願いしたい。 ・用地買収が既に99%取得済みで、工事も全線で発注済となっている。 <p>以上のことから、整備のスピードを落とすことなく引き続き「西日本高速道路株式会社による有料道路方式」による整備を希望する。</p> <p>「佐伯～蒲江」間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西日本地域での採算性、進捗率等の観点から勘案し、当該区間は新直轄方式で施行した方が早期整備が可能と考える。 ・県内早期完成の手法として有料・直轄事業が個々に実施可能となる（県内区間が平行して実施可能となる。） ・当該区間に続く「蒲江～北川」間が新直轄方式で事業中である。（活用の一環性） ・交通量は比較的小さいが新直轄方式となれば、通行料が無料で追加インター設置も容易となり、交通量も大幅に見込める為、県南地域の活性化に寄与できる。 <p>これらのことから、「佐伯～蒲江」間は「新直轄方式」による整備を希望する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地域では、2巡目国体の開催が予定され、また良好なリアス式海岸となっていることから漁業が盛んで農林水産品の流通、観光周遊ルート等による地域活性化や、大分市ではキャノン、東芝等の世界に飛躍する企業の生産拠点の集積が進んでおり若者定住を図るうえで、高速道路の早期整備が待ち望まれている。 ・高速道路の建設に対する地域の盛り上がり大きい。 *大分経済同友会や日本青年会議所、大分デザイン会議さらに「道づくりを考える女性の会」、佐伯市、津久見市等による度重なる要望活動や、189万人にも及ぶ署名活動等地域全体が熱い思いを持っている。 8. 19 東九州自動車道地方大会、1,000人規模 東九州自動車道促進期成会、九州山口経済連合会主催 10. 19 東九州自動車道中央大会、1,000人規模 東九州自動車道促進期成会、九州山口経済連合会主催 12. 1 東九州自動車道優先着工フォーラム、600人規模 大分経済同友会主催 1. 11 「津久見～蒲江間」早期整備緊急フォーラム 400人規模、大分デザイン会議主催
	宮崎県	門川～西都	<p>門川～西都間：「高速道路株式会社による有料道路方式」</p> <p>当区間は、採算性も相対的に高く、また、これまで旧日本道路公団により用地取得や工事などの事業進捗が図られてきた。</p> <p>このようなことから、新直轄区間を3区間抱える本県にとっては、早期整備を可能とするために、西日本高速道路株式会社により引き続き「有料道路方式」による整備を望む。</p>	特になし。